



保健師職能委員会だより

Vol. 6 令和 8 年 10 月発行

保健師職能委員長あいさつ

日頃より岩手県看護協会保健師職能委員会活動にご理解とご協力を賜り、厚く感謝申し上げます。

令和 8 年度も上半期が過ぎ、新体制で委員会活動を進めております。

さて、今年は、林野火災（4 月大槌町ほか）、大規模地震（4/20 三陸沖地震、7/28 熊本地震）、記録的豪雨（8 月千葉豪雨）、複数の台風など、多様で深刻な自然災害が相次ぎ、健康危機管理の対応が求められ、その重要性を再認識しました。

このような中、厚生労働省より「地域における保健師の保健活動に関する指針（保健師活動指針）」（令和 8 年 5 月 15 日付）が改正、通知されました。少子高齢化が進み人口構造や社会環境が変化している岩手県において、健康課題の多様化や健康格差の拡大が予測されます。2040 年を見据え、保健師の計画的な確保・育成・定着が喫緊の課題であり、保健師の役割発揮がますます期待されています。

今こそ、改正指針の内容を自分事として読み解き、中長期的な取組みとして各組織において、一緒に考え語り合うことが必要です。

当委員会では、2040 年を見据えた保健師活動の一層の推進を図るため、職域を超えた保健師同士、看護職間の連携強化につながる研修会等を企画、実施しております。

ぜひ、皆さまの積極的なご参加とご御意見をお願いいたします。

保健師職能委員長 浅沼圭美

令和 8 年度保健師職能委員等の紹介



（後列 左から委員）高橋愛、赤井純子、高松香、小柳美幸
（前列 左から）浅沼圭美委員長、菊池由紀副会長、滝田律子副委員長

活動報告 01 | 令和 8 年度保健師研修会

7 月 11 日（土）、岩手県看護研修センターにおいてハイブリッド形式で研修会を開催し、会場 20 名、オンライン 36 名の計 56 名が参加しました。

第 1 部 保健師の原点とこれから

北海道大学・富山県立大学 名誉教授 佐伯和子氏をお招きし、「保健師の原点とこれから～専門職としての価値を見つめ直す～」をテーマに、公衆衛生看護を担う保健師の活動の原点や本質、医療職・専門職・行政職としての今後についてご講演いただきました。「将来を見据えた予防活動」「すべての人たちの健康と生活」という原点と本質を再確認するとともに、「個人の人権の保障と安心安全な地域社会」の実現に向けて活動を広げていく必要性を認識する機会となりました。また、変革の時代に求められる役割を果たすためには、全員が成長できる人材育成の推進が重要であり、「未来を見つめてチームみんなで人材育成」がキーワードであるとお話いただきました。

第 2 部 奥州市プレコンセプションケアの取組

奥州市健康子ども部健康増進課保健師長 高橋真美子氏、課長補佐兼地域医療係長 及川香氏から「奥州市プレコンセプションケアの取組について」と題し、保健師活動の実践報告をいただきました。既存事業で見てきた課題や住民ニーズに対応するため新規事業として立ち上げた経緯、一般企業との連携、今後の事業展開などについて紹介され、先駆的な取組を学ぶ機会となりました。



佐伯和子氏



奥州市の実践報告（高橋真美子氏・及川香氏）

活動報告 02 | 保健師・助産師職能合同集会

テーマ「妊娠期から子育て期までひとりにしない支援へ ―保健師と助産師がともにできること―」

8月22日（土）に、保健師・助産師職能合同集会をハイブリッド形式で開催しました。

岩手県保健福祉部子ども子育て支援室 室長兼少子化対策監 前川貴美子氏より「育ちの質を高め生きやすさを育むために～母子保健を核とした医療・福祉との連携の視点から～」と題してご講演いただきました。妊産婦やこどもを取り巻く現状を踏まえ、こどものウェルビーイングを支えるためには、母子保健を核として医療・福祉が連携・協働していくことの重要性が示されました。

続いて、助産師の立場から県立大船渡病院 主任看護師兼主任助産師 佐々木美恵氏より「院内助産の取組」、保健師の立場から花巻市健康こども部こども家庭センター母子保健係 上席主査 栗原由香理氏より「助産師と連携した特定妊婦への支援について」の活動をご紹介します。院内助産における助産師の専門性や、特定妊婦を支える産婦人科・こども家庭センター・訪問看護等との連携の実践について学びました。

後半のグループワークでは、「保健師・助産師が効果的な連携のために今できること、目指すこと」をテーマに意見交換を行いました。職種や所属を越えて互いの役割を知り、妊娠期から子育て期まで切れ目なく支えるための連携について考える貴重な機会となりました。



講演：前川貴美子氏



活動紹介：佐々木美恵氏・栗原由香理氏

活動報告 03 | 保健師職能委員会交流会

テーマ「保健師職能の強化～保健師のネットワーク及び組織力強化に向けて～」

職能合同集会終了後、10支部の役員・委員の保健師を対象に、保健師職能委員会交流会を開催し、地域や所属を越えた保健師同士の交流を図りました。

保健師の活動領域が広がり、地域の健康課題も複雑・多様化する中、それぞれの地域や職場だけで課題を抱えるのではなく、保健師同士がつながり、互いの経験や取組を共有できる関係づくりはますます重要になっています。交流を通じて顔の見える関係をつくり、日頃の活動や課題を共有する機会となりました。

今後も、県内各地域の保健師が職域や所属を越えてつながり、互いに学び合いながら保健師活動をより一層充実させていけるよう、ネットワークづくりを進めていきたいと思います。



委員長あいさつ



グループでの意見交換